

市政を問

平成25年第2回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問の順番で掲載しています。

迅速かつ、ていねいな対応で市民の命を守れ



公明党 さの 久美子

1. 風しん対策について
大人の男性中心に流行している「風しん」。女性への予防接種助成期間が市は都よりも一ヶ月もなぜ短いのか。また、助成開始後もHP、ツイッター、安全・安心メールなどで対象者へていねいな広報が必要である。市) 補助金報告の関係だが、今後の流行の状況や都の対応を踏まえ、年明けの対応については考えたい。早めの予防接種への呼び掛け、広報に努めていきたい。

2. 女性のがん対策について
がんから命をまもるためには、予防ワクチンと検診双方の実施が必要。今年度、厚労省が細胞診とより精度の高いHPV検査併用のモデル事業を行うが、市としてHPV検査をどう考えるか。市) 厚労省の検証内容を見ながら、検討していきたい。さの) 無料クーポン事業は受診率が高いことから、受診率向上のため、未受診者に対して勧奨すべき。市) 今年度の課題として、現在未受診者の一定の期間について検討中。

3. 認知症対策について
認知症高齢者の急増に対応するため、さらなる総合的な認知症対策が必要。今後も認知症サポーター養成講座の向上をのぞむ。市) 24年度は企業向けに実施。今年度も質、回数とも充実させて取り組んでいきたい。さの) 現在の市のHPでは、認知症対策について、非常にわかりにくい。もっと効果的に情報提供すべきでは。市) HPについては、見直したい。

4. AEDについて
AEDを装備している市の公共施設等での嘱託職員の普通救命講習の受講率は、嘱託職員も受講できるシステムをすすめるべきではないか。市) 24年度は全体で13.6%、地域センターなどで約40%の受講率。施設の避難訓練に普通救命講習を同時に行うなどの仕組みづくりと、新規採用された施設管理の嘱託職員には正職員同様に必修で受講できるようなルール化を考えたい。

さの) 子ども用AED講習を含む普通救命講習を親子ひろば等で企画してはどうか。市) 親子ひろばの円卓会議などで検討してみたい。さの) 夜間対応できるように、コンビニに市の貸出用AED設置を検討しては。市) リース料、店のスペース問題等あり、もう少し研究してみたい。

5. 安全・安心のまちづくりについて
地域と学校の訓練は重要。今年度はいかがか。教育長) 学校と地域が連携をした避難訓練等は拡大の方向。学校が地域に出向き、一緒に訓練することに協力する等、進めてまいりたい。

食物アレルギー防止の実施訓練で安全対策を



公明党 高橋 りょう子

(1)「食育」の取り組みについて
問) 自治体として市民の健康は何より大切な課題。色彩豊かなホームページや食育基本条例を制定し市民の健康施策に取り組んでいる自治体もある。本市食育推進の具体的な取り組みは。市) 6月食育月間や9月健康増進月間の市報掲載や食育・栄養講座などで食の健康啓発をする。

問) 教育現場でも選食能力が身につく学習を。市) 給食レシピの公募など食育に力を入れる。

(2)食品アレルギーの対応について
問) 近隣市の教育現場で学校給食による食物アレルギー死亡事故が発生した。本市では全教職員への研修など安全対策は行われているか。教育長) 養護教諭は全員受講の予定だが全教職員の実施訓練の必要性を感じ各校へ徹底したい。

問) 他市では学童保育所でもアレルギーのある児童に誤ったおやつが提供される事故が起きた。本市はマニュアル整備ができていますか。子ども福祉部長) マニュアルはない。早急に整備し職員に改めて細心の注意を徹底したい。

問) 命に係わる慎重な対応を必要とする事例。教職員と学童職員との合同研修や保護者との情報共有で未然防止の為の横断的な連携を。教育長) 大変重要な指摘と認識。担当部と連携をとり教育委員会も支援して参りたい。

(3)障がい者の避難誘導受け入れ体制整備を
問) 昨年提案したヘルプカード作成の進捗は。市) 関係団体と協議し秋口の完成を考えている。

問) 災害時想定訓練で課題が見えて来る。ヘルプカードを活用し受け入れ体制の研修訓練を。市) 障がいの種類により対応が違うので、障がい者団体等から意見聴取しながら考えたい。

(4)健康施策胃がん予防対策について
問) 年間5万人が命を落とす胃がん。ピロリ菌抗体検査は早期発見に有効。健診にいけないか。市) 様々な手法を今後検討していきたい。

(5)ぶんバス試験運行について
問) 北町住民が長年望んできた仮称「ぶんバス北町ルート」試験運行が始まる。地域住民の要望・期待に沿える体制にするためにも市民説明会の開催など丁寧な周知で意見聴取を。市) 市民説明会を7月に開催(詳細は6月市報掲載)予定。ポスター等でも周知を図っていく。

問) 事前準備やアンケート、情報収集をしっかり行い一日も早い本格実施を期待する。

その他、一人暮らし高齢者のサポート体制、乳幼児健診未受診者への対応、女性管理職の人材登用など質問した。

市政発展は果たされたのか～星野市政の総括



公明党 木島 たかし

●公共施設老朽化対策は長期的視点で
木島) 震災対策、行財政や人口減少への対応、将来のまちづくりのあり方も含めた検討を。部長) 重要課題と認識。まずは今年度しっかりと全庁的に検討を進めていきたい。

●空き家等への対策の強化を
木島) ごみの放置等、適正管理されていない住宅への対策も含め、条例化へ向けた検討を。部長) 条例の必要性を含め検討しなければならないと感じている。

●都営住宅シルバーピアの管理体制について
木島) 10月から管理体制が変更になる。関係住民の不安にたいして説明と意見の反映を。部長) これまでの経験と迅速対応の観点から、特命随意契約を予定。住民の意見を聞いていく。

●7月の星野市長の退任にあたり、私木島たかしも取り組んできた市政の重要課題について、以下市長に総括的に質問しました。

①特定行政庁について
木島) 都から移管を受け5年。権限を活かしたまちづくりになっていないのではないかと。市長) 地方分権の時代にあって、主体的にまちづくりを進めるための移管。着実に成果を挙げているが、指摘のとおり課題もあった。

②国分寺駅北口再開発について
木島) 特定建築者が決まる重要な局面。40年来の課題に一定の見通しが出つつあるが油断は禁物だ。任期満了まで責務を果たされたい。市長) 2回の計画変更があったが、まちの将来のために絶対に進めるとの強い決意でここまで取り組んだ。細心の注意を払って仕上げていく。

③行政改革と財政健全化について
木島) 基金残高の減少等、厳しい市財政は続いているが、将来世代への負担の先送りとなる臨時財政対策債を7年間借りずに市債残高を減少させたことや、多摩26市の中でも特に高額だった職員人件費を削減したことは、市民の信頼に応える取り組みと評価するが、市長の思いは。市長) 一定の成果を挙げたと認識している。

④市民サービスの向上は果たされたのか
木島) 削減や政策変更に伴う市民への説明で一部に配慮を欠いたことは否めないが、これまでの取り組みに一定の評価をしたい。市長) 市民意向調査では国分寺は「住みやすい」「住み続けたい」という方が9割近くに達している。H11年、17年、22年と実施するごとに上昇してきていることから、国分寺を住みやすいまちと受けとめていただいていると思う。

議員の辞職について

下記のとおり議員の辞職がありました。
議員名：井沢邦夫(自民党新政クラブ)
辞職日：平成25年5月31日
議員名：三葛敦志(政策市民会議国分寺)
辞職日：平成25年6月14日
庶務担当(内467)

「西武鉄道5路線廃止」に反対し継続運行を求める意見書を国土交通省と東京都へ持参しました

国分寺市議会では、先の臨時会で可決された「西武鉄道5路線廃止に反対し継続運行を求める意見書」(※次ページに全文掲載)に関して、東京都北多摩議長連絡協議会とともに5月13日に国土交通省、15日に東京都に赴き、それぞれ国土交通大臣と東京都副知事に直接提出しました。また、西武ホールディングス社及びサーベラス社には、決議書を郵送し、現行路線の継続を強く求めました。